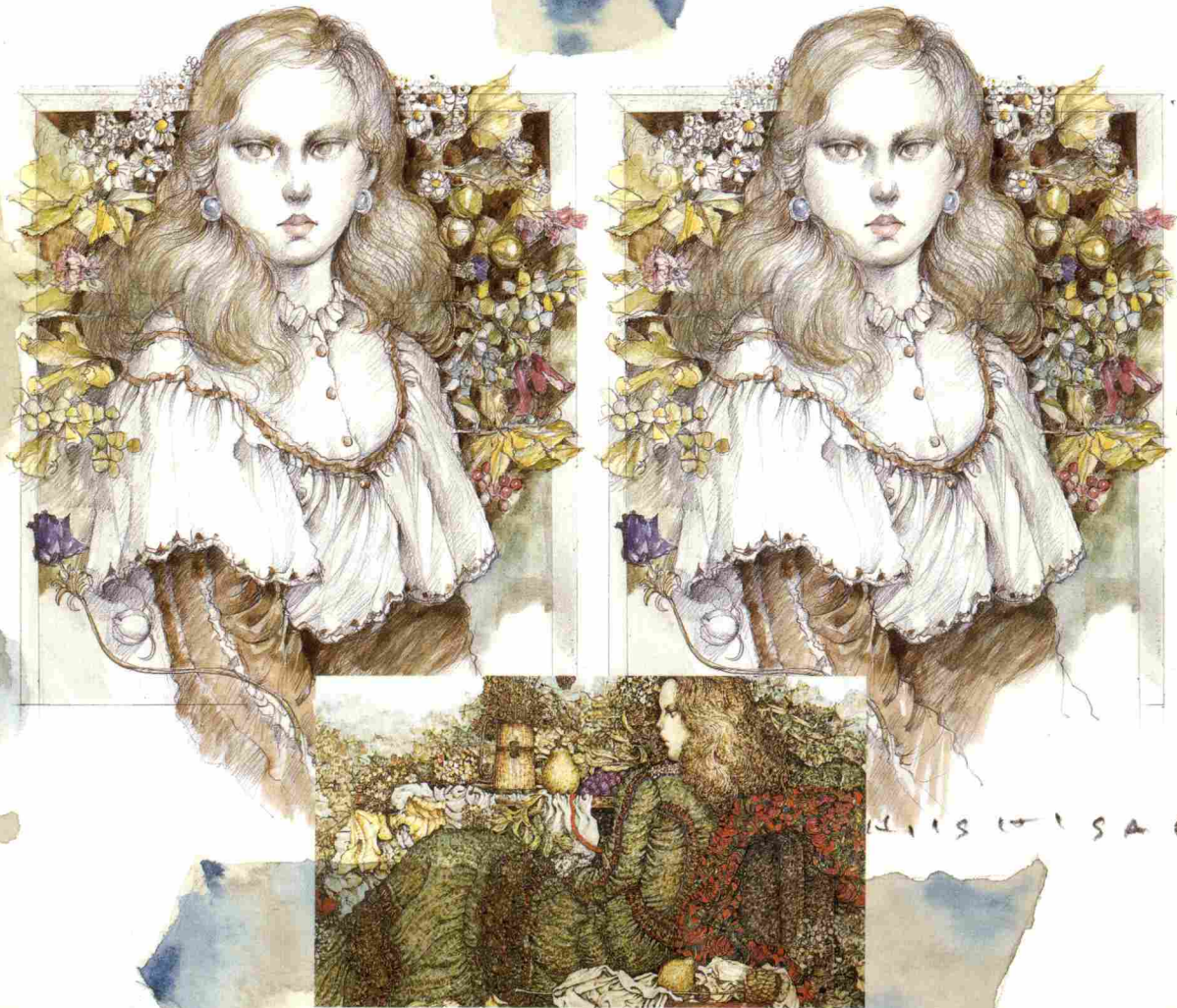


VOL.514 小さく光る 月刊神戸っ子

2004年4月1日発行 毎月1回1日発行 第43巻 第4号
通巻514号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可

KOBECCO 2004 4



MISSISSAEE

Flower fair

4/29(Thu) ~ 5/3(Mon)



PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl

パールサロン神戸

神戸市中央区山本通1-7(北野坂)

TEL.078-221-3170

FAX.078-221-9427

うらかな春の日に



JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目TEL.078(331)5761

東山魁夷展

HIGASHIYAMA KAI: One Man's Path ひとすじの道
2004年4月3日(土) — 5月23日(日)

兵庫県立美術館「芸術の館」

開館時間 午前10時～午後6時(金土曜日は午後8時まで) ※入場は開館の30分前まで

休館日 毎月曜日(但し5月3日開館) 6日休館

回覧料 Ⅰ 概1400円・Ⅱ 100円・Ⅲ 大・高生900円・中・小生500円・300円

※(内容別料金および20名以上の団体別料金/兵庫県内在住・在学の中小生は「300円」の提示より無料になります) 障壁の方および兵庫県内在住の65歳以上の方は当日料金が半額になります。常設展示の観覧には別途料金が必ず要です。本展とあわせて観覧する場合は割引になります。

観覧券は「チケットぴあ」Pコード685197「ファミリーマート」セブンイレブン・サンクスロソン「チケット」Eコード59799「など」京阪神の主要「プレイガイド」にて発売

主催 兵庫県立美術館/日本経済新聞社/テレビ大阪/神戸新聞社

後援 兵庫県/兵庫県教育委員会/神戸市/神戸市教育委員会/財伊藤文化財団

特別協力 東京国立近代美術館/高田提寺/長野県信濃美術館 東山魁夷館

会場 兵庫県立美術館 企画展示室「ギャラリー」

本展は、1999(平成11)年に逝去した日本画家・東山魁夷の没後初の総合的な回顧展です。東山魁夷は、1908(明治41)年

横浜に生まれ、3歳から18歳までの15年間で神戸で過ごしました。第二神戸中学校(現在の県立兵庫高

等学校)卒業後、東京美術学校日

本画科に入学、在学中に第10回帝

展に初入選、1933(昭和8)

年にはドイツ留学を果たし、ベル

リン大学で美術史を学びました。

しかし、父親の病気のため留学半

ばで帰国してからは、戦争による

疎開、従軍、相次ぐ肉親の死とい

った試練に見舞われることとなり

ます。第二次大戦後の1947(昭

和22)年、「残照」が第3回日展で

特選・政府買い上げとなり、これ

を契機として以降東山は代表作《道

》など、澄んだ清らかな色調の静謐

な風景画をつぎつぎに発表、19

56(昭和31)年に日本芸術院賞

受賞、1969(昭和44)年には

文化勲章を受賞するなど戦後の日

本画壇に大きな功績を残しました。

また1971(昭和46)年より1

982(昭和57)年まで10年余の

歳月をかけて完成された、奈良唐

招提寺御影堂の障壁画制作は、戦

後の日本画史上の大きな成果とし

て位置づけられています。戦後、

日本画そのものの存在が厳しく問

い直された状況の中、東山魁夷は、

美術界をとりまく様々な現象に歩

調を乱されることなく、静かに風

景と対峙し誠実に自己と向き合

いながら風景画を描きつづけまし

た。日本独自の美意識や伝統、西洋の

美術に対する深い洞察と理解に裏

打ちされた思索は、数々の著述の

中にも表わされ、また作品にも投

影されています。本展は、東京国

立近代美術館、長野県信濃美術館

東山魁夷館、そして唐招提寺の全

面的協力を得て開催するものです。

《残照》《道》ほか、古都を描いた

「京洛四季」のシリーズ、北欧やド

イツ・オーストリアの風景に取材

した作品を含む代表作、東山芸術

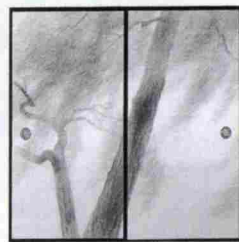
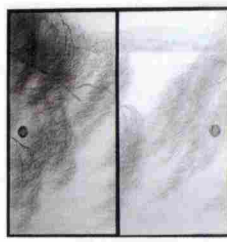
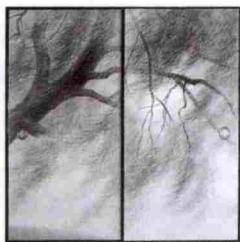
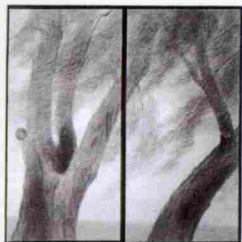
の集大成といえる唐招提寺御影堂

の障壁画《山雲》《濤声》《揚洲薰

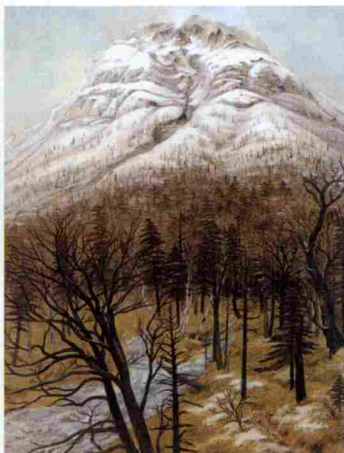
風》など総数約90点を展示し、そ

の全貌に迫ります。

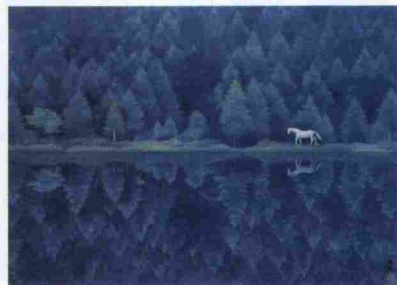




1



4



5

2

3

1. 〈唐招提寺御影堂障壁画 揚州薫風〉(部分) 1980年 唐招提寺
2. 〈道〉1950年 東京国立近代美術館 ※4月25日まで展示
3. 〈猿嶽初冬〉1931年 武陽会
4. 〈青響〉1960年 東京国立近代美術館
5. 〈緑響く〉1982年 長野県信濃美術館 東山魁夷館 ※4月27日より展示

会期中展示替えを行います。展示替え作品約15点 前期:4月25日(日)まで〈道〉他約90点 後期:4月27日(火)より〈残照〉他約90点



交通案内

阪神岩屋駅から南に徒歩約8分
JR灘駅から南に徒歩約10分
阪急王子公園駅から南に徒歩約20分
地下駐車場 乗用車80台収容・有料

兵庫県立美術館

記念対談

4月3日(土)「画家 東山魁夷を語る」
東山すみ氏(東山魁夷夫人)×真野響子氏(女優、神戸大使、神戸市立森林植物園名誉園長)
会場・時間 兵庫県立美術館ミュージアムホール 14時~15時 定員250名(先着順)
聴講無料(聴講には展覧会チケットが必要です)

記念講演会

4月11日(日)「東山魁夷・静かなる革命」千住博氏(日本画家・京造形芸術大学教授) 定員220名(先着順)
5月9日(日)「東山魁夷 人と芸術」尾崎正明氏(東京国立近代美術館副館長) 定員250名(先着順)
会場・時間 兵庫県立美術館ミュージアムホール 14時~15時30分
聴講無料(聴講には展覧会チケットが必要です)

※対談、講演会とも当日12時よりミュージアムホール前にて入場整理券を配布します。

〒651-0073神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
Tel.078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

パルクチュール組合学校賞・熊野有紗さんの作品。
熊野さんはパリに留学の予定。

ファッション都市 神戸から羽ばたく

神戸ファッション専門学校



↑神戸市長賞・高田知依さんの作品。高田さんは(株)日興テキスタイルに就職が内定している

←大賞に輝いた高橋裕美子さんの作品。高橋さんは(株)ジェルベに内定



神戸ファッション専門学校 (KFI) と、神戸文化短期大学服飾学科が合同で開催している「ファッションフェア」。両校の学生によるファッションショー、そして、学生からの応募作品のコンテスト、全国の高校生を対象としたコンテストが行われる。

今年1月25日、神戸ファッションマートで開催され、コンテスト大賞には高橋裕美子さん、パルクチュール組合学校賞には熊野有紗さんが選ばれた。他にも神戸市長賞、田崎真珠賞、神戸新聞社賞、サントV賞などが授与される。パルクチュール組合学校賞に選ばれた学生は、奨学金を受け、クチュール組合学校に留学できる。学園と提携しているクチュール組合学校は、オートクチュール組合が運営する学校で、KFIには、毎年コンテストの審査のためパリから教諭が来日し、学生対象に講義や技術指導も行われる。また、ファッション業界のプロを対象とした「立体裁断セミナー」も毎年開催しており、本場の技術が身につけられると受講者から好評をえている。

学生たちの
学んだ成果を発表
ファッションフェア2004



昨年北野工場のまちで行われた「KFI MOVE」



昨年デュオ神戸で行われた作品展

産業界とつながる教育

KFIのファッションクリエイター学科では、学生たちがそれぞれブランドを立ち上げ、企画コンセプトをまとめてデザインを展開し、パターン作成からサンプル縫製までの一連の実習を学ぶ。それらのブランドコレクションが発表されるのが、毎年秋に開催される「KFI MOVE」。ファッション



ジャンボール・デュナン氏を講師に迎えた立体裁断の授業

ンショーと同時にファッションビジネス学科の学生たちによる、デイスプレイクンテストの作品が展示され、審査員にはファッション業界のプロを迎えている。

さらにKFIでは、ファッション業界の企業の協力をえて、学生が実際の現場で研修ができるカリキュラムを実施している。最近の取り組みの中では、先染め綿素材の産地である西脇の企業が学生を受け入れ、体験の場を提供するなどしている。

学生たちが学んだ成果を発表する作品展が、5月29日(土)30日(日)、JR神戸駅地下南デュオドームで開催される予定。30日にはファッションショーが行われる。

KOBE FASHION INSTITUTE 神戸ファッション専門学校

- ファッションクリエイター学科(3コース・3年)
アパレルデザインコース/アパレルテクニカルコース/オートクチュールコース
- ファッションビジネス学科(6コース・2年)
ファッションアドバイザーコース
スタイリスト&コーディネーターコース
メイクアップコース
ファッションアートコース
シューズコース
ファッションデザインコース



〈学校説明会〉

5月8日(土) 22日(土)
6月12日(土) 26日(土)
7月10日(土) 14:30~16:00

〈高校生対象KFIセミナー〉

7月21日(水) ※詳細は学校事務局へ
〈夏休みの学校説明会・体験入学〉
7月27日(火) 28日(水) 30日(金) 31日(土)
8月2日(月) 18日(水) 21日(土)
28日(土) 30日(月)

13:00~15:00

体験入学はデザイン画/コンピュータグラフィック/ソーイングのコース。
体験入学のみ電話・FAXで要申し込み。



神戸市中央区国香通6-7
TEL.078-241-8611 FAX.078-241-8614
http://www.kfi.ac.jp/

展望大浴苑(九階)とご昼食プラン

そうしゅんふ

奏旬譜

パーティールームにてお食事コース

平日 6,000円 休日 6,500円(税・サ込)

(お正月及びお盆の期間は休日料金)

お食事時間 1回目/11:30より ※ご入浴は時間内に1回のみとさせていただきます。
2回目/13:00より ※お部屋・浴衣をご用意いたします。
※前日までにご予約をお願いいたします。
ご入浴時間 11:30~15:30 ※和食堂にてお召し上がり頂く場合もございます。

ご宴会場にてお食事コース

平日 7,000円 休日 8,000円(サ込・税別)

ご利用時間/11:30~15:30

※10名様以上で前日までにご予約をお願いいたします。
※ご入浴は時間内に1回のみとさせていただきます。
※お部屋・浴衣をご用意いたします。
※年末・年始及び夏季期間は除きます。
※ホテルバスの送迎につきましてはご相談ください。(10名様~25名様)



※お盆・お正月期間中は、お食事コースはご提供できません。

■予約専用電話 (午前9時~午後9時) ☎078-903-5489

有馬グランドホテル

■ご予約以外のお電話・お問い合わせは ☎078-904-0181(代)
〒651-1401 神戸市北区有馬町1304-1 FAX(078)904-0297

ホームページ <http://www.arima-gh.co.jp/>

予約センター

●大阪(06)6341-8747 ●名古屋(052)582-2031 ●東京(03)3567-7812

A003
手造り焼豚(1本)



C005
手造りロース焼豚(1本)



ほんとうの
手造り味わう。

美味探求

ご贈答品に!
おみやげに!
地方発送承り中!

神戸元町にうまいもの発見!
新鮮な豚肉と秘伝のタレに
たつぷりと漬け込み、特製の重火釜で
じっくりと焼きあげた手造りの焼豚



期間限定 ABH6
手造り焼豚(1本)と
特選ロースハム(1本)と
豚肉味噌漬(5枚)



期間限定 AB05
手造り焼豚と
特選ロースハム(各1本)



AB05
手造り焼豚(1本)と
豚肉味噌漬(10枚)

A005
手造り焼豚(2本)

新生会社のギフト通信販売

- 電話でどうぞ... ●ファクシミリでどうぞ...
「ご贈答品配送申込票」
をファックスでお送りください。
- ※平日 078 (391) 4011 FAX 078 (331) 0192
- ※平日 078 (391) 5859
- 封書でどうぞ... お申し込みは、「ご贈答品配送申込票」又は「お手紙」
でお届け先のご住所、お名前、電話番号、商品番号、
品名、数量、金額を明記の上、封書でご送付下さい。



新生公司

昭和二十八年、神戸の地に産声をあげ、はや四十余年。味と製法にこだわりをお持
ちの多くの方々にご愛顧、ご支援を賜っておりますことを心から感謝しております。
吟味した良質の素材のみを使用し、手造りならではの深い味わいをお届けい
たします。これからも、より一層のご愛顧を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

◎元町本店 | 神戸市中央区北長狭通3-3-2 ☎(391)4011(代表)
◎南京町店 | 神戸市中央区元町通1-1-1 ☎(391)5859

情報、アクセス、おしゃれにグルメ、 神戸でいちばん便利です。

電車やバスを降りたら、そこは「さんちか」。

ショッピングやお食事を楽しんだら、そのまま帰れるターミナルにあるさんちかは、

素敵な暮らしの情報ステーションでもあります。

ショッピング、グルメ、わくわくするイベントの数々を、おしゃれ感覚でお楽しみください。



母と娘の *オシャレな時空間*

sanica

The New Heart of Kobe 神戸三宮さんちか

<http://www.sanica.com>

さんちか名店会 神戸市中央区三宮町1-10-1 ☎078(391)3965 ●営業時間/AM10:00~PM8:00(飲食店はPM9:00オーダーストップ) ●定休日/毎月第3水曜日

中西利雄展

2004

4月17日[土]-5月30日[日]

前期：5月9日まで 後期：5月11日から

近代的な感覚の作風により、昭和期の水彩画に一線を画した水彩画家・中西利雄（1900-1948）の画業を回顧し紹介いたします。

中西は東京に生まれ、1922年東京美術学校に入学しました。同年、大正、昭和期の水彩画に新風を吹き込んだ「蒼原会」の前身である「東京三脚会」を結成し、以後も同会のリーダー的存在として活動し続けました。また、1928年から1931年にかけてパリを拠点にヨーロッパを旅して多くの画家達の作品を吸収し、サロン・ドートンヌに2度の入選を果たしています。そして帰国後は《優勝出場》が帝展の特選を得、1936年には美術学校の同級生であった小磯良平、猪熊弦一郎と共に、純粋な芸術活動を目指す「新制作派協会」を結成するなどの活躍が見られます。

不透明水彩絵具を用いた大作を描き、革新的な制作を試みた中西の作品は、没後55年経った今でもその輝きを失っていません。本展は、彼の水彩画、デッサン挿絵原画等約150点を展示替により紹介するものです。

☆講演会 4月25日(日)午後2時より
「中西利雄の人と芸術」
講師／茨城県近代美術館
主任学芸員 山口和子氏
美術館2階絵画学習室にて
(当日整理券を配布・定員80名)

☆解説会 毎週日曜日・午後2時より(約30分間)
当館学芸員によるスライド解説

☆美術館大作戦1 《中西さんの水絵のみひつ》
定員20名／対象：小学1年～中学3年生
午後1時30分～4時(予定)
5月5日(水・祝)、8日(土)、15日(土)、22日(土)
○往復はがきによる申し込みが必要です。
詳しくはお問い合わせ下さい。

☆アトリ工解説 午前11時と午後2時より(約20分)
*他の催しと重なっている場合は時間が変更されます。



「婦人帽子店」1935年 東京国立近代美術館

同時開催：収蔵作品展Ⅰ

休館日 月曜日(ただし5月3日の祝日は開館)、5月6日(木)
開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料 大人700円(550円)、高大生500円(350円)
小中生300円(150円)※()内は30名様以上の団体
シルバー-350円(すこやかカードをご提示ください)
5月18日(火)は国際博物館の日のため、無料です。
交通 JR住吉駅、阪神魚崎駅のりかえ
六甲ライナー「アイランド北口駅」下車
主催 神戸市立小磯記念美術館、田辺市立美術館
後援 NHK神戸放送局

神戸市立小磯記念美術館

神戸市東灘区向洋町中5丁目7 TEL.078-857-5880
http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso_museum/

SECOND COVER

これは神戸を愛する人々の手帖です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人に楽しい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。



KOBECCO 2004

大塚由貴

〈フルーティスト〉

—音楽は人との つながり—

大阪音楽大学音楽学部在学中、トーマス・ロバーテロ氏のフルートの音色を聴き、ぜひこの先生に学びたいと決め、卒業後にアメリカ・インディアナ州立大学音楽学部に留学。昨年、アメリカのフルートコンクールでは最高峰のマーナブラウンフルートコンクールで優勝した。

帰国後初のリサイタルは、ハーブとフルートのデュオコンサート。ハーピストは、中国生まれのRoby Kuoを迎える。インディアナ州立大学で共に学んだ友人だ。いつかハーブとのデュオをと願っていたところ、Roby Kuoに出会った。Robyは、世界の2大ハーブコンクールのひとつUSAハーブ国際コンクールで優勝した実力派。それに加え「Roby

はハーピストというよりは芸術家。彼女の経験や、人間性が、音楽に出ているのです。とても尊敬しています」と大塚は語る。「音楽と一緒にやるには、信頼関係が大切。彼女と私は音楽性が似ていると思うし、その中であらうアイデアをぶつけ合って、切磋琢磨していきける。だから彼女とのデュオはずっと続けていきたいと思っています」。

音楽が好きで、音楽をする手段としてフルートを使っているんです、と大塚。「音楽を奏できれば、国や人種に関係なく人と人

とがつながっていきます」と。

大塚由貴&Roby Kuoデュオコンサートは、4月9日（金）神戸新聞松方ホールにて。

〈鳥羽〉



KOBECCO 2004

センダ・ルクムエナ

〈工学博士〉

—進化する 伝統をもとめて—

一枚の写真が、コンゴ生まれの彼を日本へといざなった。パリの大学に在学中ふと目にとまった写真。そこには日本の伝統的な町屋があった。やわらかな光と優しい空間美のもつ不思議な魅力、自然を大切にしたい心地よさにひきつけられた。

大阪大学大学院工学研究科で環境工学を専攻。博士号を取得後、アフリカ・アメリカ・ヨーロッパ・日本で建築・都市計画を研究し学会でも数多く発表。建築家、シティプランナーとしての経歴を語る。現在は、瀬戸本淳建築研究室にて企画部に在籍するかたわら、関西学院大学三田キャンパスにて非常勤講師も務める。

その聡明なまなざし、落ち着いた語り口

は、繊細なインテリジェンスにあふれ、1997年以来、アメリカのマークイズ・パブリケーション出版Whos Who in the Worldに名前を連ねている。

神戸はきれいな街並みや、山があり海があつて、歩ける範囲にいろんなものがそろっている。工夫次第でヨーロッパの街のように、それぞれの顔、個性を大事にしながら伝統的なものなかに新しさをプラスできるポテンシヨナルの高い街だと静かに話してくれた。

復興後の神戸は、彼の目にどんなふうに見写っているのだろうか。人を魅了し、いざなえるだけの力をもった街に生まれ変わっていると願いたい。

〈山本〉





河本さん偲ぶ会

↑ユーハイムの創設者・河本春男さんを偲ぶ会が3月9日の夕べに行なわれ、参加者から献花ならぬ「献葉」が、徳山幸俊前市長がお別れ。

あいり

↓サロン・ド・あいりの2周年パーティが2月24日開かれ、ファドの女王・月田秀子が熱唱。

HIAふれあいの集い

↑平成15年度の集いは3月6日JICAで。(写真上)淡路文楽人形と握手(右上)野沢会長・砂野盛り上げ委員長と共に(下)アジアの留学生たち。



二紀展でトアギャラリー賞を受賞した中畑佳子展2月14、19日。鮮やかなブルーの世界。



●コウベスナッフ

菅田英一

↓3月5～8日、芦屋のギャラリー篝火で「菅田英一版画作品展」。さわやかな風と音楽がきこえてきそう。

根垣睦子

↓生田神社会館で2月12～16日、えびら賞の根垣睦子展がフレッシュに。

女流秀麗展

元町のギャラリーエサンサカエで第1回女流秀麗展が2月13～19日開催。力作が並んだ。





燦の会

女流いけばな作家たちが集う「燦の会」が2月25日より、30周年の作品を生田神社会館で力作を展示。



兵庫のまつりふれあいの祭典

第15回兵庫のまつりふれあいの祭典閉会式が、3月10日兵庫県公館で。祭典は姫路を中心に開かれ、兵庫5国の多彩な文化が花開いた。写真は表彰式。

上田英子

故・上田照也師の英子夫人が、能姿の創作和紙人形を創って25年。3月1～11日、県民会館で、繊細ながら迫力ある人形の能舞台を披露。



長浜リツ子

闘病から再起されたアートフラワー作家・長浜リツ子さんを囲む会が、三宮の季節料理「汐彩」で3月4日の昼に開かれた。



紙コブアーティスト、LOCCOさんと鳩本昭三師が結婚! LOCCOさんの本「LOCCO MOTION」出版記念パーティが3月19日ホテルモントレ。

LOCCO



二紀展

2月14～22日ギャラリーほりかわで、2003神戸二紀展受賞作家展が。左・堀川社長、右・新家保さん。





●ある集い●神戸ワインサロン

ワインを愛する
気の合う仲間たちとともに

神戸ワインサロンは、ワインを愛する気の合う仲間が集い、会話を楽しもうと、1979年5月に結成されました。以来、8月と12月を除く毎月1回の定例会を開催し、これまで味わったワインは1500種以上に達しています。

現在の会員数は約80名で、会員の職業も、音楽家、彫刻家、舞踊家、デザイナー、アナウンサー、医師、弁護士、大学教授、醸造家、実業家等、多岐にわたっています。現在、会長は貝原俊民さん（財団法人阪神・淡路大震災記念協会理事長）がとめておられます。

1999年には、震災後の神戸に夢を与えようと、創立20周年記念事業として「神戸ワインサミット」を企画し、大成功をおさめました。

ワインサロン創立25周年を迎えた本年2月25日・26日には、第3回「神戸ワインサミット」を開催し、地域経済の活性化と、ワイン文化の普及にやさかでもお役に立てたことを、会員一同誇りに思っています。なお特筆すべきは、世界のワインづくりの原点ともいふべき、フランス・ブルゴーニュ地方のロマネ・コンティ発祥の地、サンヴィヴァン修道院の遺跡保存チャリティオークションを催したところ、日本はもとより、海外からも大きな注目を集め、神戸ワイン文化の発信地として印象つけることができたことです。

〈株式会社今井商店・

コウベワインセラー 今井拓雄〉



●ある集い●骨董ワンダーランド開催実行委員会

第1回骨董ワンダーランド

4月9日(金) 10日(土) 11日(日)
の3日間、王子公園前にある兵庫県立
美術館王子分館「原田の森のギャラリー」
で「骨董ワンダーランドKOBÉ2004」
を開催します。

2階の会場では全国から集まる約80
社のグレイドの高い古美術・アンティ
ークの展示販売が行われます。骨董好
きの方から、興味はあるけど骨董を
あまり知らないという方で、行けば何
か新しい出会いがあると思います。

1階会場では、「遊び塾 原田の森の
学校」と称し、昔ながらの遊びを子供
に体験してもらったり、遊び道具の
手作りワークショップの開催や、神戸
の歴史を紹介します。「子供たちにい
ろんな体験をしてみたい」という想
いからこういった企画にしました。

美術館を使つてのこのようなイベ
ントは全国でもめずらしく、4月に行わ
れる第1回目はあらゆるところから注
目を集めています。

そもそもこのイベントは「灘区の活
性化につなげたい」という思いで発案
しました。阪神淡路大震災から10年を
迎えようとする今、これまでとは違っ
た「復興」をしていくこと、すなわち「神
戸」「灘」「原田の森」の新たな復興に
より、地域のイメージアップ、地域の
活性化を図っていければと考えています。
原田の森を訪れたついでに、灘のい
ろんな施設・お店で灘のすばらしさを
感じてみられてはどうでしょう。

メンバー一同、ご来場心よりお待ち
しております。